

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	総合英語	小林 俊哉	1 年次	秋

授業のキーワード	総合的英語力、英語基礎力養成、英語基礎的応用力養成
授業の概要	プレースメントテストにより能力別に授業を行います。英語のさまざまな技能を総合的に養成します。高校までの授業の確認をし、今後の英語人生につながる基礎力を養成することを目的とします。基本事項を徹底的に確認しながら、基礎的な応用ができるように学習します。
期待される学習成果（目標）	1. 主語や動詞などの文の構成素の認識、また品詞の区別など英文の基礎構造がわかる。 2. 短いパラグラフの速読ができ、その内容を把握できる。 3. 基礎的な語彙を習得し、それをベースにさらに多くの単語の運用ができる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	単語・品詞	基本的な8つの品詞について学びます。	第9講	否定文・疑問文	be 動詞と一般動詞を伴う否定文と疑問文、さらに接続詞を含む文について学びます。
第2講	文の成分	主語、動詞、目的語、補語、修飾語について平易な練習問題を解きながら学びます。	第10講	現在完了・過去完了	完了形の中でも、現在完了形と過去完了形についてその仕組み、意味、考え方を平易な例文を通して学びます。
第3講	名詞・代名詞	単数形、複数形、不可算名詞を含め名詞について学び、さらに代名詞についての基礎を学びます。	第11講	第2回確認試験	これまでに学んだ事項を確認するための試験を実施します。
第4講	動詞	be 動詞、一般動詞の分類、また自動詞と他動詞の違いなどを含めた動詞の基本を学びます。	第12講	受動態	主語が動作の主体となる受動態、主語が動作の目的となる受動態に区別し、受動態の意味や作り方について学びます。
第5講	第1回確認試験	これまでに学んだ事項を確認するための試験を実施します。	第13講	関係代名詞(1)	関係代名詞の仕組み、その考え方について基礎的な練習問題を通して学びます。
第6講	時制	過去、現在、未来の区別、また進行形の仕組みなども合わせ時制について学びます。	第14講	関係代名詞(2)・関係副詞	前講に引き続き関係代名詞の学びを継続するほか、関係副詞についてもその概要を学びます。
第7講	形容詞・副詞	形容詞の性質、副詞の性質について学んだあと、それぞれの働きを基礎的な練習問題の中で確認します。	第15講	まとめ	ここまでカバーした文法事項を概観し、疑問点、不明点などを少しでも減らすように復習します。
第8講	助動詞	可能、必要、義務などの助動詞 do, does, did の働き、さらに他に頻出する助動詞について学びます。	定期試験		これまでに学んだ英語の諸要素の習得を確認する総合的な試験を実施します。
評価方法	第1回確認試験30% 第2回確認試験30% 期末試験40% なお当該年度に6回実施される「英語基礎力認定試験」のいずれかに合格することが定期試験の受験資格となります。ただし、実用英語技能検定の準2級以上の取得をもってその合格に代えることができます（要証明書）。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
『Fundamental Grammar and Vocabulary』角岡賢一・Simon Rosati 著、成美堂、¥1900			「英語基礎力認定試験」のための参考書を1冊購入していただくことになります（英検準2級以上取得者は不要）。詳細は、ヘッドスタートプログラムや初回の授業でお知らせします。		